

デジタルとエネルギーの道の整備促進
北海道の発展を支える新たなインフラとして海底光ケーブルと送電ケーブルの整備を促進します。
 (政策展開の方向性)
 デジタル化やエネルギーの確保、脱炭素化への取組は、これからの社会経済活動に不可欠であり、未来に向けて大きな変革をもたらし、北海道の価値を高めていく原動力となります。これらの取組を支える重要なインフラとなる北海道と本州を結ぶ海底光ケーブルと海底送電ケーブルの整備促進とともに、国際海底光ケーブルの本道への陸揚げの誘致に向けて取り組めます。

区分	主な取組	備考 (施策Code)
省エネ促進・新エネ導入拡大	<p>○風力発電の取組促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 再エネ海域利用法に基づく「有望区域」に指定された道内5区域のうち2区域（檜山沖、岩宇・南後志地区沖）において法定協議会（3回）を開催し、促進区域の指定にあたっての利害関係者との調整や地域・漁業との共存・共栄策を協議 ◇「松前沖」及び「檜山沖」が、再エネ海域利用法に基づく「促進区域」に本道で初めて指定【R7.7】 	0507
環境・エネルギー産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 洋上風力発電の導入促進に向け、住民説明会等や全道セミナーを開催 技術系教育機関における進路啓発として出前授業、バスツアーを実施 道内中小企業に対し、洋上風力の建設やメンテナンスに必要な専門知識や技能、資格を取得するために要する経費を補助【R6.8～R7.6：3件】 	0508
災害にも活用できるエネルギー事業環境整備	<p>○海底直流送電ケーブルの着実な整備、再エネ導入拡大のための電力基盤増強、電力インフラのレジリエンス強化に向けた取組の推進について国への要望を実施【R7.5】</p> <p>○災害時における円滑な燃料供給に向け重要施設情報の更新を実施</p> <p>◇国際海底光ケーブルの陸揚げ拠点の北海道苫小牧市への新設表明【R7.7】</p>	0509
デジタル関連企業の集積	<p>○国内外のデータセンター事業者や投資家に向けて、冷涼な気候や豊富な再生可能エネルギーなどの北海道の立地環境をPRするセミナーを東京都で開催した【R7.1】ほか、シンガポールで海外事業者との商談会を実施する【R7.2】など、本道へのデータセンターやデジタル関連企業の誘致に繋げる取組を促進</p> <p>○デジタル関連を中心とした首都圏企業の開発拠点の誘致や本社機能移転の促進等に向けたセミナーを東京都で開催した【R6.10】ほか、首都圏のデジタル関連企業と道内の大学や自治体等との連携を促進し、道内地域のより詳細な情報をPRするマッチングイベントを東京都で開催する【R7.2】など、デジタル関連企業の誘致に繋げる取組を促進</p> <p>◇北海道と海外・首都圏を結ぶ光海底通信ケーブルの整備支援について国へ要望【R7.5】</p>	0510
宇宙航空産業の振興	<p>○宇宙航空産業への投資の呼び込みやスタートアップの促進に向けて、国内外の宇宙・航空分野の最新情報の提供や人との繋がり場の創出、人材確保のほか、海外需要の獲得を支援するとともに、航空機関連産業への参入促進に向けた取組支援</p>	0514

※主な取組については、令和7年度基本評価・事務事業評価調書(「○～」)、道ホームページ等(「◇～」)より引用・作成

<p>スタートアップ創出・集積の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○起業に関心のある社会人等を対象としたビジネスアイデアを創出するワークショップの開催 【BASIC PROGRAM：オンラインで計5日間で開催、延べ100人参加】 【IDEA PROGRAM：道内5カ所2日間で開催、延べ143人参加】 【ADVANCED PROGRAM：5名選考しオンライン+対面により計3回実施】 ○事業計画策定から投資家とのマッチングまで一貫した伴走支援の実施 ○オープンイノベーションプログラムの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・道内自治体等とスタートアップのマッチングによる実証実験への支援を実施 ・計3社とマッチングし実証実験への支援を実施 ○スタートアップ・ビザ取得者への定着支援 <ul style="list-style-type: none"> ・海外起業家を対象とした申請前から入国後の定着までの支援【定着支援者数：15名】 ○札幌・北海道スタートアップ・エコシステムのPR <ul style="list-style-type: none"> ・道外の投資家等を集めたPRイベントの開催【道内3地域、延べ600名以上、参加国：18カ国以上】 	<p>0515</p>
<p>企業誘致の推進・集積の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○豊富な再生可能エネルギーや冷涼な気候といった本道の立地優位性をアピールしながら、トップセールスやセミナーの開催、展示会への出展、企業訪問などの誘致活動を促進【セミナー・展示会等（トップセールスを含む）～R6:20事業、企業訪問～R6:1,040件】 ○苫小牧東部開発連絡協議会及び石狩湾新港地域開発連絡協議会（ともに道が事務局）として、国に対し、当該地域の開発に関し、基盤整備の推進や各種プロジェクトの導入促進などについて要望活動を実施 	<p>0516</p>